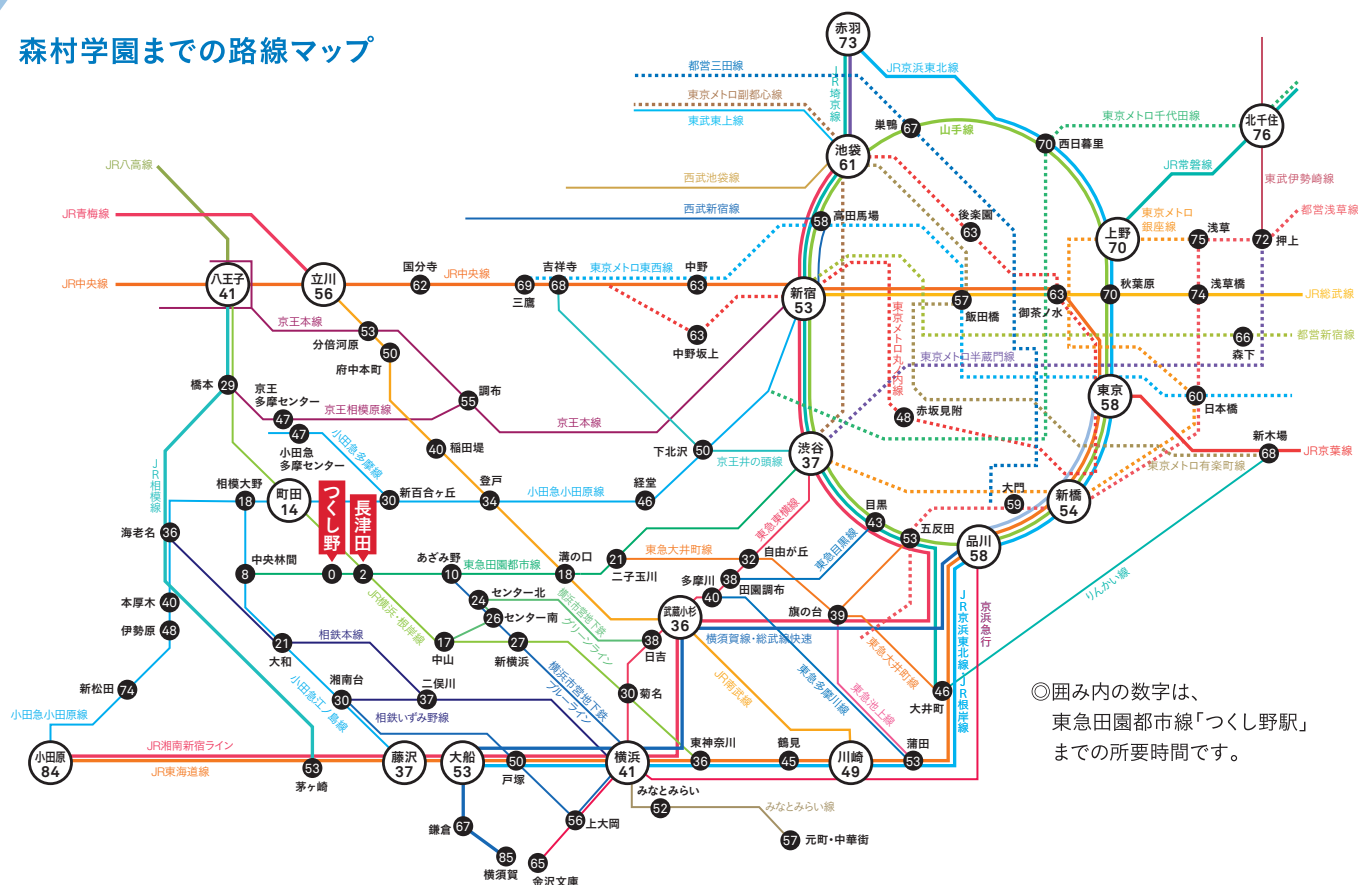
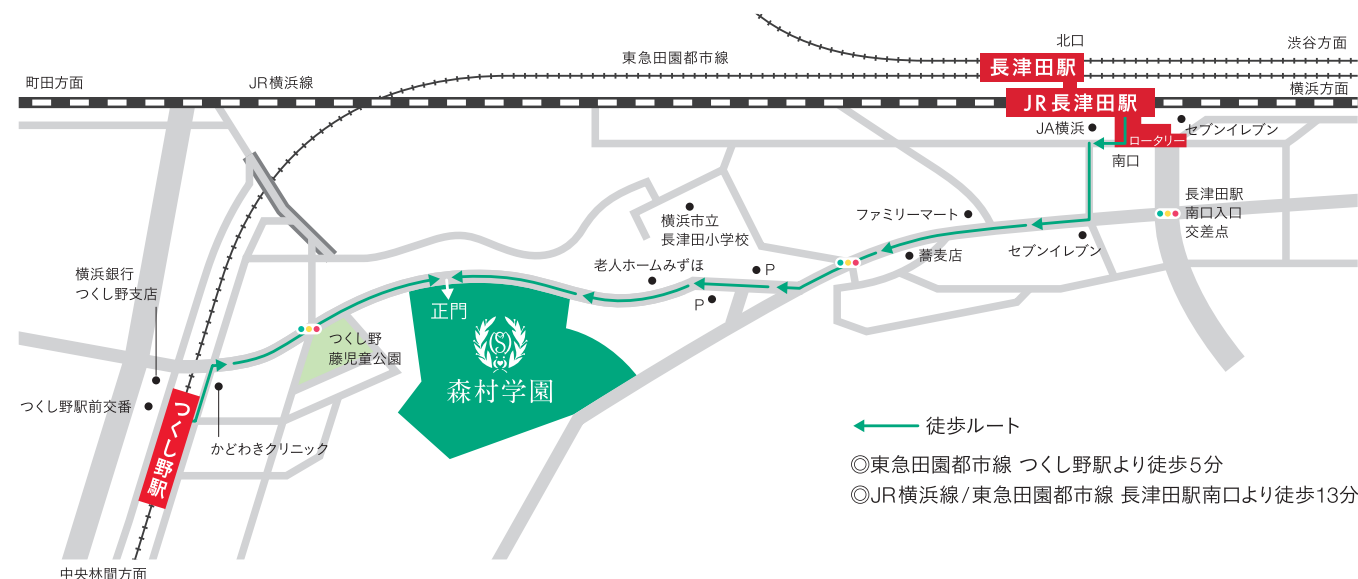


森村学園までの路線マップ



学園周辺マップ



森村学園 中等部
高等部

学校案内 2023



森村学園
ホームページ



イベントの
お申込みはこちら



LINE
公式アカウント

イノベーションマインドで進め。

森村学園は、幕末から明治にかけて日米貿易を切り拓いた実業家・森村市左衛門により、1910年に創立されました。
100年以上前に市左衛門から受け継いだ建学の精神「独立自営」は、これからどのような時代になろうとも不可欠な精神です。
本校では、そうした精神を受け継ぎながら実践してきた未来志向型教育をさらに発展させ、
予測困難な社会をたくましく生きていくための「イノベーションマインド」を育んでいきます。



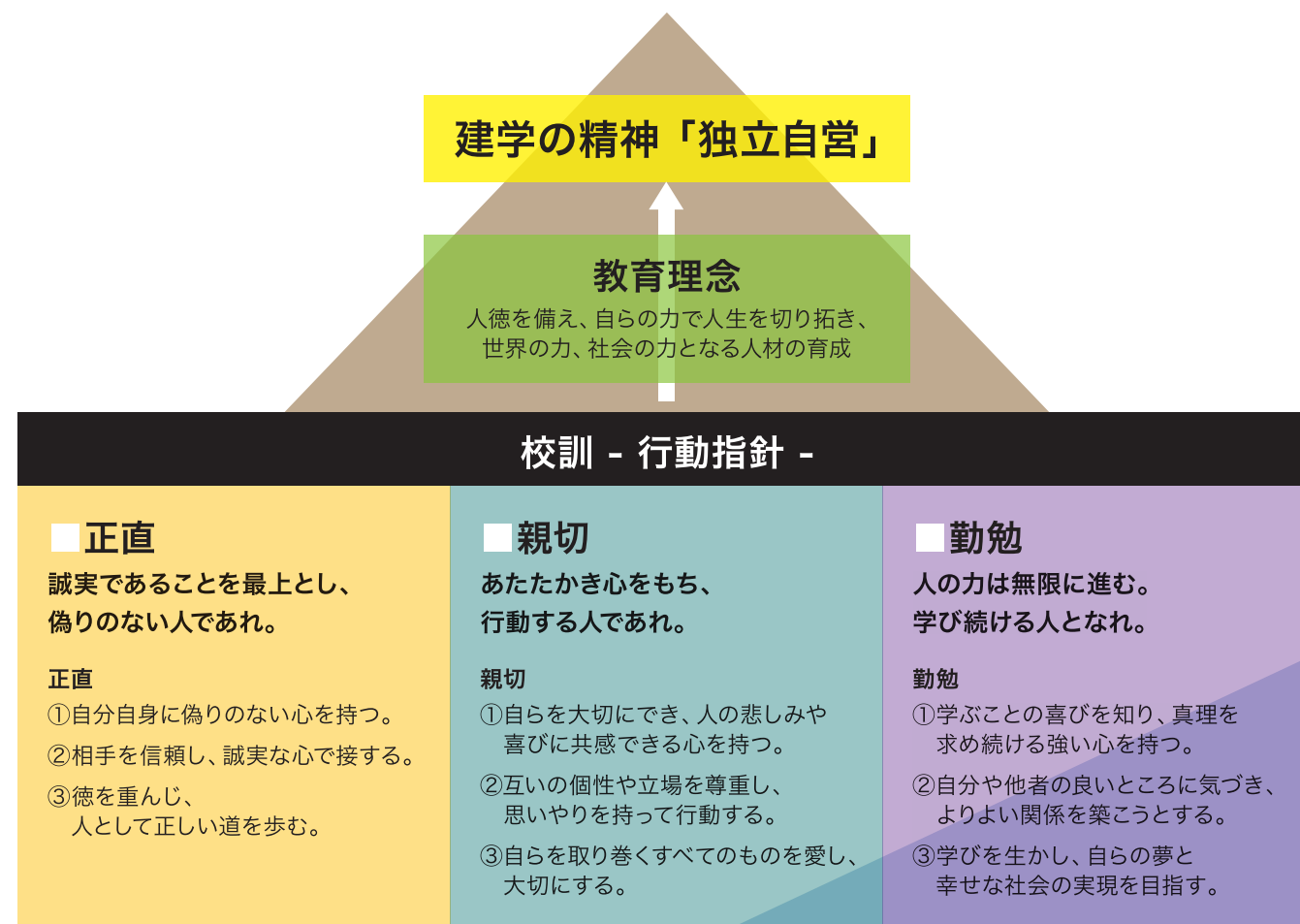


激動の時代に、イノベーションマインドで 人生を切り拓ける人へ

地球規模での変化が激しいこの時代において、創立者森村市左衛門先生が遺した建学の精神「独立自営」は、日本の将来を託された若者にとっては重要不可欠な行動基盤です。皆さんのような若者たちにとって、この先、素晴らしい機会に恵まれることもあるでしょう。しかしその一方で、複雑な課題に直面し、自ら解決することが求められるようになります。この先の四半世紀は、情報、自動化、エネルギー、環境、雇用、経済、福祉といった分野においての大変革期を迎えます。これは、創立者が経験した明治維新に似た変革です。変化は、いつも不意に起こり、同時に、全世界とその常識にも瞬間に影響を及ぼします。森村学園の生徒は、学園の校訓「正直・親切・勤勉」に加え、豊富な知識と優れた能力、確固とした自信を抱き、どんな困難な状況においても、人生の目標を成し遂げる中で、自己の成長を喜び、社会に貢献することができる人になるでしょう。激動の時代に自らの力で人生を切り拓いた創立者の姿を範とする「イノベーションマインド」に加え、「挑戦」・「活躍」・「貢献」を心に留め行動することこそが、本校の目指す教育の特徴です。

In this era of rapid global change, the founding spirit of "independent self-employment" given by our founder, Ichizaemon Morimura, is an inspiration for younger generations entrusted with the future of Japan. There will be amazing opportunities in the future. However, there will also be complicated problems needing to be faced and overcome. The next 25 years will be a period of revolution in the fields of information, automation, energy, environment, employment, economy and welfare. This is a transformation with similarity to the Meiji Restoration, which our founder experienced. Change happens abruptly and the whole world's common sense can change in a day. Together with the school motto "honesty, kindness, and diligence," Morimura Gakuen students also have a wealth of knowledge, excellent abilities, and solid self-confidence. They realize their personal growth and contribute to society. Our "innovation mind" concept is modeled after the founder who pioneered his life in a turbulent era. Our school acts with "challenge," "activity," and "contribution". This is our education and school identity.

時代を見据える森村学園
これまでの100年とこれからの100年



創立者・森村市左衛門プロフィール

TOTO、ノリタケ、日本ガイシなど日本のセラミック産業の創始者として、そして何よりも明治という時代に日米貿易に先鞭をつけた伝説的人物となっている森村市左衛門翁。日本の国力を盛り立てようと、日本製の洋食器をアメリカに輸出し、激動の時代の大成功者となった一方で、彼が痛感したのは「人づくり」の大切さでした。そこで日本女子大、慶應義塾大、北里研究所等に多大な資金援助を行い、その創立に寄与。さらに「独立自営」の精神のもと、自らの屋敷の一角に幼稚園と小学校を創立しました。森村市左衛門翁の人生哲学であった「正直・親切・勤勉」は、そのまま森村学園の校訓として受け継がれています。

沿革

1839 天保10年	創立者六代目森村市左衛門生まれる（幼名は市太郎）。
1910 明治43年	南高輪幼稚園開園。 南高輪尋常小学校開校。
1941 昭和16年	国民学校令により、森村初等学校と改称。 森村高等女学校発足。 女学校新校舎建築工事起工。 財団法人森村学園創立・認可。
1948 昭和23年	校名変更許可。 森村学園幼稚園・初等科・中等科・高等科となる。
1950 昭和25年	中・高等科が男女別学となり、男子部が発足する。 創立40周年。
1951 昭和26年	財団法人を改組し、学校法人森村学園となる。
1978 昭和53年	横浜市緑区長津田町に移転開始。 幼稚園・初等科・男子部・女子部・専攻科を 幼稚園・初等部・中等部・高等部・専攻科とし、 専攻科(女子)のほかは各部とも男女共学制とする。
1997 平成9年	中等部・高等部を一体化。
2000 平成12年	創立90周年を迎える。 中等部5クラス制に移行開始。
2004 平成16年	中等部・高等部週6日制へ移行。
2010 平成22年	創立100周年を迎える。新校舎落成。
2020 令和2年	創立110周年を迎える。

6年一貫教育

大学進学とその後の未来を見据え、
6年一貫の利点を活かした横断的な学習プログラムを設計しています。

3つの教育ステージ

6年間を3つのステージに分け、先の
ステージを見据えて「今」必要な学習
を徹底して指導します。

中部1年

中部2年

中部3年

高等1年

高等2年

高等3年

基礎学力の育成

応用力 の育成

実践力の育成



国語・数学・英語等では頻繁に小テストを実施。定期的な復習・家庭学習を促して学習習慣を身につけ、6年間の学びの土台をつくります。



中1・中2で培った基礎学力をもとに、学びを発展させ深めていきます。中3からは徐々に高校の授業の先取り学習が始まります。



高2から「文系コース」と「理系コース」に分かれます。高3では、志望大学合格に向けて、演習授業で実践力を強化していきます。

未来志向型教育 Next Step

中部3年間で、6年間の基盤となる
言語技術を習得し、外国語(英語)教育・課題解決(PBL)型授業を推進していきます。

P.7

言語技術教育

未来志向型教育の基盤となり、論理的思考力を育む「言語技術」の授業により、中部で

基礎となる考え方を身につけ、高等部の探究的な学びにつなげます。

P.9

課題解決(PBL)型授業

グループディスカッションから論文作成まで、予測不可能な未来のために「答えのない問い」

に挑みます。

P.10

外国語(英語)教育

6年間の学びを、コミュニケーションアプローチからロジカルアプローチを経て、クリティカル・

アナリティカルアプローチへと段階的にステップアップさせながら4技能を習得します。

P.11

教科教育

6年間を見通した授業計画で、希望の
進路を実現できる学力を身につけます。

P.13

国語

中部では読解(国語Ⅰ)と文法(国語Ⅱ)の授業を分け、基礎力を養います。中3からは高校

の現代文や古典の内容を含めて学習します。

数学

中学・高校の学年・分野を融合。理解しやすく、体系的かつハイレベルな「体系数学」を教科書

に採用しています。

理科

中1～中3は上半期に化学(理科1)・生物(理科2)を、下半期に物理(理科1)・地学(理科2)

を学びます。

地理・歴史・公民

中1は日本地理・世界地理、中2は歴史、中3で近現代史・公民を学びます。

文理選択

高2進級時に文理選択を行います。目指す進路、受験する教科に合わせて柔軟に教科を選択することが可能です。



キャリア教育

目指す進路と進学先を具現化します。

進路指導

自ら目指す「路」を明確にする手助けをします。

P.17

進学指導

具体的な進学先を設定、志望校合格のために全力でサポートします。

P.18

行事

行事は人を育てます。研修旅行を通じて多様な世界に触れ、校内行事では主体性をもって行動する姿勢が身につきます。

P.21



みなかみ研修旅行



イングリッシュキャンプ



ニュージーランド修学旅行



広島研修旅行



京都・奈良修学旅行

※2019年度実績
(2023年度以降は検討中)

「独立自営」の精神で未来という青海原へ

INNOVATION MIND

イノベーションマインドを育む 未来志向型教育、Next Step

未来志向型教育のこれから

森村学園が推進してきた「未来志向型教育」は、言語技術教育を軸とし、課題解決(PBL)型授業、外国語(英語)教育、ICT環境により成り立つ独自の教育システムです。

今後はこれらをさらに発展させ、予測困難な社会をたくましく生き抜くため、果敢に「挑戦」し、多様な人と協働しながら世界で「活躍」「貢献」できる人財の育成を目指します。

基礎学力を活性化する学習プロセス

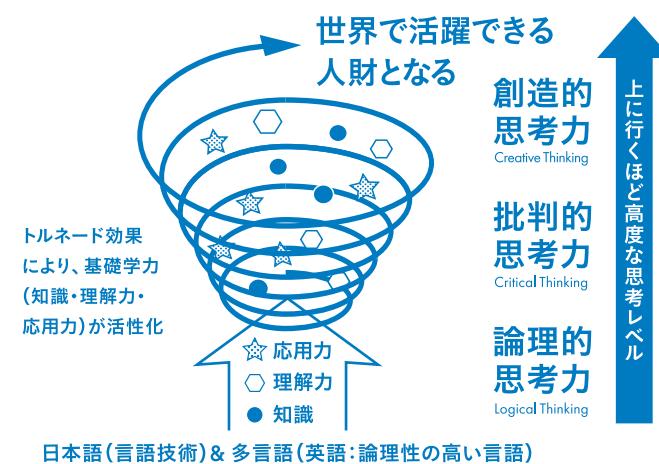
学習のプロセスは、「知識」の集積、「理解」「応用」を経て「論理的思考」「批判的思考」「創造的思考」へと思考レベルが向上します。これは、「タキノミー(教育目標の分類学)」という、アメリカの教育学者ベンジャミン・ブルームが提唱したものです。[図1]

森村学園では、基礎学力の習得とともに「言語技術」を学ぶことで、[図2]のように「学びの好循環」を生み出します。生徒は、「言語技術」を活用することにより、習得した基礎学力(知識・理解力・応用力)を、より高度な思考レベルへと引き上げることができます。ひとたびその循環に入り込むことができれば、学習の上昇スパイラルがトルネードのごとく基礎学力を活性化させて発展していきます。

[図1]【教育目標分類】



[図2]



言語技術教育・
課題解決(PBL)型授業 p.09

ACADEMIC
MIND

GLOBAL
MIND

外国語(英語)教育 p.11

TECHNOLOGY
MIND

ICT 環境 p.12



言語技術教育

グローバル人財の基盤をなす

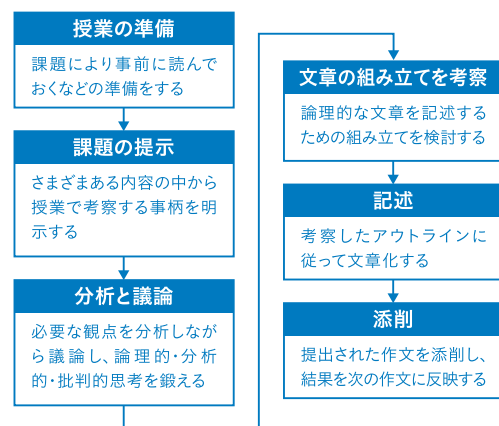
言語技術の特徴は、言葉を用いるさまざまな手法を生徒の参加と作文によって指導する点にあります。それは、対話・物語・説明・論証に分類され、問答ゲームを通して型に則って発信する方法を指導した後、大量の質問を浴びせて対象を分析的に捉え、自ら発問する能力を獲得させます。これを基盤に全ての授業がアクティブ・ラーニング、すなわち思考し、発信する形式で行われます。問答ゲームはパラグラフ形式の文章である小論文や英語の記述方式に発展します。この時必要なのが情報を空間的に配列する手法で、これは全体から部分に情報を組み立てる能力となります。文学も重要な要素で、そこには物語と絵・テキストの分析が含まれます。文学的教材や絵画を分析的批判的に考察することは深い教養の土台となります。こうした授業は全て議論で実施され、作文で完結されます。その繰り返しの中で、森村学園の生徒は国内のみならずグローバルに通用する母語力を身につけます。



つば言語技術教育研究所と提携し、所長の三森ゆりか先生にも、ご指導いただいています。

積み上げ方式の言語技術

数学と同様、最初は各スキルを個別に学習し、最終的にはあらゆるスキルを応用しながら論理的・分析的・批判的・創造的に思考して議論し、記述できるようにします。



「言語技術」とは

言語技術は、古代ギリシャの雄弁術などに端を発する言語教育で、西洋言語圏の母語教育の根幹をなすものです。その目的は、「聞く・話す・読む・書く・考える」という言語の5機能の鍛錬にあり、ここに文法事項や語彙の組み立てなどを含むあらゆる言葉の要素が含まれます。英語圏では母語教育の内容が言語技術なので、それを母語で身につけると英語の獲得に繋げやすいのです。

「言語技術」が身につく森村学園のカリキュラム

問答ゲーム

世界に通用する型(結論・根拠・まとめ)で発信する訓練です。同時に質問に答える力、分析的に発問する力を鍛えます。英語、及びパラグラフ構成の文章の土台にもなります。

再話

読み聞かされた物語を再生する訓練です。これを通して、物語を構造的に捉える力、重要点をメモする力、物語を文章化する力、大量に記述する力、要約力が身につきます。

空間配列

空間的に捉えた情報を論理的構造的に秩序立てる訓練です。情報の捉え方、組み立て方に影響を与え、小論文、論文、さまざまな情報文、プレゼンテーションの土台になります。

丸本

丸ごと一冊分析する授業を年間3冊実施します。物語の構造・視点・設定・人物・葛藤・暗喩・主題などを、内容に即して議論しつつ分析し、課題に対して論証文を記述します。

課題解決(PBL)型授業

答えのない問いに「自分なりの答え」を出す

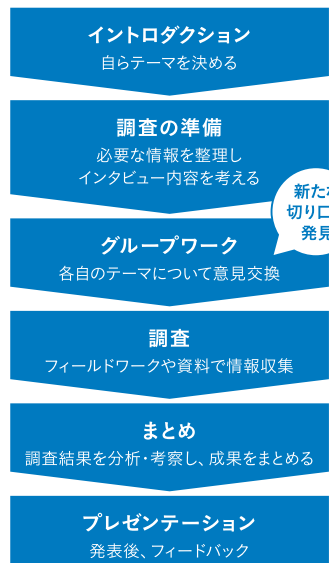
中部部では「未知の世界を知ろう」をテーマに、社会での活躍を見据えたさまざまなプログラムを、PBL形式で実施しています。まず中1で行うのは、「創立者・森村市左衛門研究」。市左衛門の生き方を通して、世界で活躍するのはどうしたことなのか、どのように新しい道を切り拓くのか、自らの路を模索していくための基盤をつくります。

中2の「職業研究」では、各自興味のある職業について調査する過程で、グループワーク・発表を行います。中3では、「自由課題研究」において自ら問いを立て、課題解決にはどんな知識・調査が必要か、どのように発表したら理解してもらえるかを生徒主体で考えます。同様のテーマを研究する生徒同士でディスカッションし、新しい切り口を発見しながら、論文にまとめます。



Future Room(フューチャーーム)には可動式の机と椅子、プロジェクター、数多くのホワイトボードがあり、ダイナミックなグループ学習を可能にします。

授業の流れ(例)



新たな切り口の発見



探究学習

高1では、平和学習をテーマに広島を訪問。現地の学校や放射線影響研究所などでフィールドワークを実施した後は、学んだことをパワーポイント等にまとめて中部部の生徒に向けてプレゼンします。



SDGs学習

SDGsカードゲームの体験や、17の目標に取り組んでいる企業を訪問した成果の発表などを通して、世界の課題を自分ごととしてとらえ、考えるきっかけをつくります。



シアターラーニング

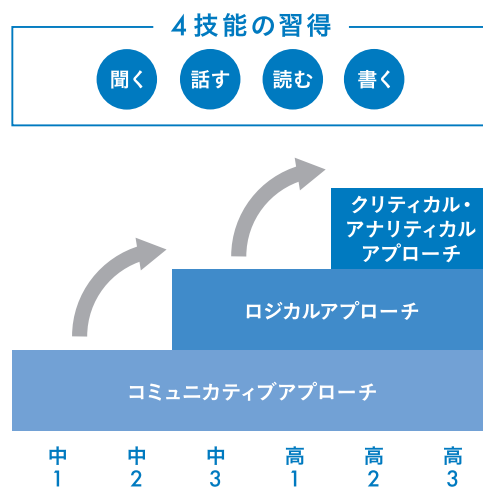
プレゼンで求められる豊かな表現能力を養うため、2019年度中1の研修旅行で導入。昨年度からは新入生オリエンテーションで実施。自分を解放し、身ぶりも交えて人の心を動かすテクニックを学びます。



グローバル社会をたくましく生き抜く力を養う

森村学園での6年間の英語学習は、2年ずつ段階的にアプローチを発展させながら「聞く・話す・読む・書く」の4技能を習得します。初期段階の中1・中2では、コミュニケーションの道具として、英語を使えるようになることを目指すコミュニケーションアプローチ。中3・高1からは、より論理的に英語で考え、意見を述べる力の獲得を目指すロジカルアプローチ。高2・高3の最終段階では、批判的・分析的に物事を捉え、自らの考えを口頭で発表したり文章にまとめたりするなど、創造的で知的な英語の活用を目指すクリティカル・アナリティカルアプローチです。言語技術で学ぶ内容とあわせ、英語で論理的に自分の考えを述べられるようになります。

森村の外国語教育



外国語教育

ルート別授業

インプットとアウトプットを繰り返し、基礎から着実に学ぶ本校スタンダードのルートと、生活言語として使用してきた英語を学習言語へと発展させることを目的とするルートの2つから、自分に合った学習ルートを選択できます。



実践的な言語活動

中等部ではネイティブ教員による授業のみならず、通常の授業もクラスを分割して少人数で実施。校内スピーチコンテストやレシテーションコンテスト、海外研修などを通して実践的に英語を使う経験を積みます。



英検®(実用英語技能検定)

学年ごとに合格目標を設定して英語力を底上げ。中3初期までに3級合格、高1から準2級以上合格を目指し、事前の対策講座や2次試験対策の個別指導(希望制)でサポートします。



学びの可能性をひろげ、社会で生きる力をつける

本校では、2in1PC(タブレット端末としてもノートパソコンとしても使えるパソコン)を全学年で取り入れ、双方向的・主体的学びを目指しています。またMicrosoft認定教育イノベーターの教員が4名おり、生徒へのきめ細やかな指導が可能です。情報取得能力の高い子どもたちの情報リテラシーを徹底的に高める指導も行いながら、学校生活や授業でのICT活用を通じて、世界で通用する人財を育成します。

2in1PC・Microsoft Teamsの活用

本校では社会で必要とされる力を自然と身につけるため、2in1PCを利用しています。通常授業や日々の連絡に加え、Microsoft Teamsによるオンライン授業や課題提出、資料の共有も可能です。日常的に朝礼などのコミュニケーションでも活用します。



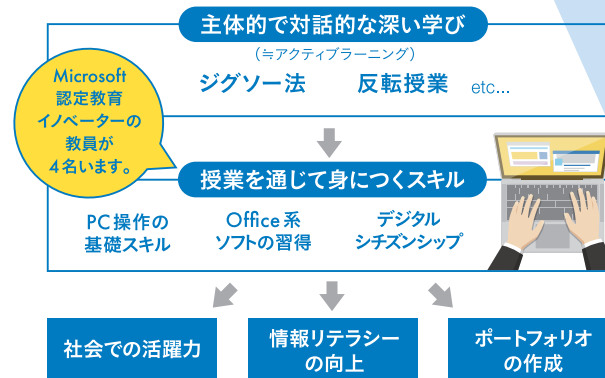
Wi-Fi完備/Adobe整備によるSTREAM教育^注

Wi-Fi完備により、学内どこでもインターネットに接続でき、各教室100名まで同時接続可能です。またAdobe Creative Cloudを導入し、クリエイティブな環境を整備。問題解決の手段にデジタルでの解決方法をプラスし、より効果的なSTREAM教育につなげていきます。



注)Science科学・Technology技術・Roboticsロボット工学・Engineering工学・Art芸術/デザイン・Math数学など、これからの時代に必要とされる教育分野。

森村学園のICT教育



サポート体制

自学自習をサポートする丁寧な指導

自学自習を習慣化させ、希望の進路を実現するための学力育成を後押しする充実した体制を整えています。

家庭学習の記録、データ化

中等部のうちに、自学自習の習慣を根付かせるため、家庭での学習時間を生徒それぞれが記録します。記録したものはデータ化し、分析して見えた課題を教員から伝えることで、より効率よく効果的な習慣が身につくように導きます。



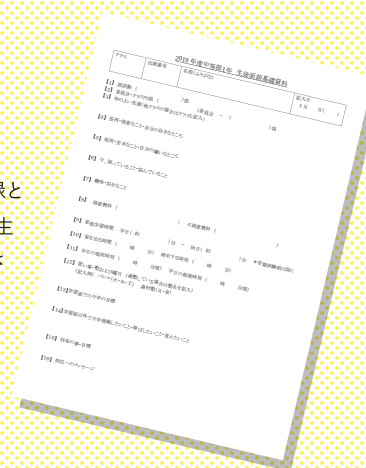
指名補習・希望補講

指名補習は、主に国・数・英において学期総合成績によって対象者を決定。長期休暇中やその都度行う講座で苦手を克服します。希望補講は成績中・上位層が対象。高等部2年や3年は、目的別の講座や大学受験演習タイプの補講などを選択可能です。



面談の記録、カルテ

年2回行う生徒との面談では、記録として「カルテ」を作成しています。生徒の現状、希望などが細かく記録されたカルテは学年が進んでも共有され、一人ひとりの生徒へのきめ細やかな指導につなげています。



駿台サテライト講座

自習室のPCや自分の2in1PCを利用して、駿台予備学校が提供する映像授業を安価で受講することができます。主に高等部3年生を対象とした講座ですが、高等部1・2年生用の講座もあり、下級生にも活用されています。



国語

自らの考えを適切な言葉で表現する力をつける

言葉を使う時に大切な「考える力」「読み味わう力」「書く・創る力」「話す・聞く力」「言語知識の力」5つの力を育みます。中1から中3では「心の大地に種をまく五分間」を実施し、それぞれの年齢やその時の社会情勢に応じた小説、有名作品の冒頭、評論文などを読解することで、さまざまな言葉・表現を自分のものにします。



数学

論理的に考察する力を育む

毎日の学習習慣を定着させるために、問題集のノート提出を通じて、途中式の書き方や直しの大切さを指導します。中2までに中学の学習内容を終え、中3の1学期から高校の数学がスタートします。高1では習熟度別授業を実施。粘り強く考える力と、論理的に考え判断する力を養います。



理科

数多くの実験にじっくり取り組み分析・考察する

充実した設備で、教科書にないオリジナルの実験も交えた数多くの実験に取り組みます。実験助手が必ずサポートにつき、安全に進めることができます。中等部では高校の学習内容も取り入れ、難しい実験にもチャレンジします。



社会

学び考えたことが人生の核になる

中1の段階では、まず、社会科を好きになることからスタート。学んだことと実社会のつながりを、頭と心と五感を使って考え、学ぶ意欲を引き出します。さらに教科書の内容をベースにしたオリジナルプリントを全授業で使用し、幅広いテーマを扱うことも大きな特徴です。正解のないあらゆる問題に対して、自分で考える力を養います。



書道

充実した環境で本格的な作品づくりにもチャレンジできる

広々とした書道室では、教室の机では書けないようなサイズの作品に挑戦することが可能です。また、水泳のビート板のような発泡ポリスチレンに刻字するなど、ユニークな作品づくりにも挑み、自分の表現したいことを形にする力や集中力、納得いくまでやり抜く力を育みます。



芸術鑑賞

芸術鑑賞でも一貫カリキュラムを意識

中等部では日本文化を、高等部では西洋文化を学びます。例えば、中1では和楽器、中2では狂言、中3では寄席を鑑賞。これは日本文化を理解し、海外研修などで語れるようにすることも目的としています。高等部では、ミュージカル・演劇・バレエなどを鑑賞します。事前学習を踏まえ、本物の舞台に触れて心からの感動を覚え、感性を養います。



美術

個性と感性をのびす

中等部ではさまざまな表現方法や技法を体験します。また、古今東西の芸術作品を鑑賞することによって、多様な視点や価値観に触れます。高等部では選択授業でより専門的に学び、コンセプトを重視した作品づくりを促します。自分の思いを実現していくことの難しさと面白さを実感しながら、試行錯誤する心を育てます。



インベーション
マインドを支える
確かな学力と
感性を養う



技術家庭

チームティーチングで実技を大切に指導

各領域で実習を数多く取り入れ、よりよい生活を送るために必要な知識や技術を習得し、実生活におけるいろいろな課題を解決する方法を学びます。実習はチームティーチングで行っており、生徒一人ひとりにきめ細やかな実技の指導を目指しています。高等部では、より実践的・体験的な学習を行い、広く社会との関連から生活のあり方を考えるきっかけを作っています。



音楽

豊かな表現力を身につける

中等部では楽曲分析を行い、作曲者の意図を学びます。また、中1では琴を体験。「さくらさくら」を全員が弾けるように練習します。高等部でもいろいろなジャンルの数多くの作品に触れ、多種多様な表現方法を学びます。音楽教育は、他者とのコミュニケーションの大切さなどを学び、感受性や協調性、豊かな人間性を育む大切な教科です。



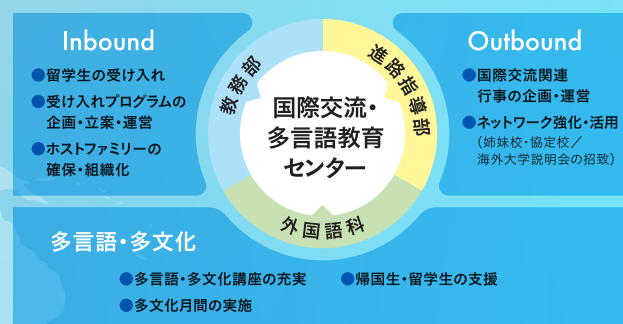


常に多言語・多文化に触れ、 語学力と人間性を育む

多様な文化や価値観に触れ、視野を広げるプログラムで、
創立者が目指した「世界に伍す若者の育成」を具現化します。

森村学園のグローバルマインドを牽引する 国際交流・多言語教育センター

本校では「国際交流・多言語教育センター」が中心となり、グローバル教育を推進しています。当センターは、本校の国際交流関連プログラムを一括して企画・運営する組織です。海外修学旅行や語学研修、留学生の送り出し・受け入れはもちろん、日常に多文化が存在する空間をつくり出し、学校に居ながらにして多面的な価値観に触れることを目指したプログラムを運営しています。



森村学園が目指す「世界に伍す若者像」

- 1 ——— 国内外の様々な文化や多様な意見を尊重し、**多角的に物事を考える**生徒
- 2 ——— 自他の**アイデンティティを尊重**できる生徒
- 3 ——— **積極的に多くの人々とコミュニケーション**を取る生徒
- 4 ——— 時にハードトークもいとわない、**広い見識と論理力**を持った生徒
- 5 ——— **世界の発展に主体的に寄与し**、幸福な生活を実現することのできる生徒

TOPICS

海外大学進学協定校 推薦入試制度に加盟！

海外の大学が優秀な日本人学生を受け入れる目的で設けた特別入試制度です。各協定大学が設ける成績基準を満たし、学校推薦を受けることで出願が可能になります。卒業まで奨学金制度(返済義務なし)を適用する大学もあり、希望する生徒は、各大学の受給基準を満たした上で出願することで、確実に奨学生として指定の大学に入学することができます。

国際交流プログラム

多言語・多文化講座(希望制)

コロナ禍で移動が困難な中でも多様な価値観に触れ、世界を広げることをねらいとし、多彩な講座を開講。言語の他にも、さまざまな文化や異なる価値観を知り、多角的に異文化理解を深めています。

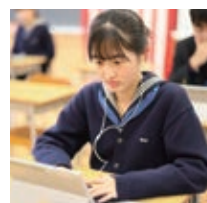
講座の例	●フランス語	●スペイン語	●プログラミング言語
	●ポルトガル語	●東欧文化	●中米文化
	●フェアトレード	●ロボティクス	

※その他の言語講座も準備中



US Dual Diploma Program(希望制)

2021年1月よりスタートしたUS Dual Diploma Programは、本校の通常の授業に加え、放課後や週末にアメリカの名門高校の授業をオンライン受講し、日米2つの卒業証書を手にするという画期的なプログラムです。履修科目はアカデミックイングリッシュや美術・音楽鑑賞教育、海洋学、世界史など。日本に居ながらにして高度な英語力が身につくだけでなく、世界視点で学ぶことができるのも魅力です。



海外研修

国際力(異文化理解・アイデンティティ)、国際コミュニケーション力(外国語力)、人間力(生きる力・自立心)の育成を目指して、さまざまな国でそれまで学び身につけたことを試し、異文化に触れるプログラムです。世界情勢の変化を受け、各種行事については現在改変を進めています。

これまでのプログラム

グローバル研修

ニュージーランド修学旅行	(中等部3年)
オーストラリア語学研修	(中等部2年～高等部2年/希望制)
マルタ・グローバル研修	(高等部1年・2年/希望制)



ターム留学

オーストラリア	(高等部1年・2年/選抜制7名)
---------	------------------

公益財団法人森村豊明会および同窓会から「留学奨励金」が支給されます。



言語技術・母語教育

言語技術は、グローバル社会に求められる論理的・批判的思考力と豊かな教養を育む学びです。簡潔に話す・書くスキルだけでなく、客観的に物事を分析する力や聞き取った話を忠実に文章化する力をつけ、要約や創作にも取り組みます。

インバウンド

本校では例年留学生を受け入れていきます。留学生と交流することで多文化に触れ、多様な価値観を受容できる人財を育てます。



教育活動の最適化と夢に近づくための徹底したサポート

「未知の世界」に目を向け、自らの夢の方向性を探る「進路指導」。その夢を実現させるために必要な知見を広げ、学力を向上させる「進学指導」。それら2つは車の両輪のごとく、生徒一人ひとりの希望を叶える役割を果たします。

進路指導

進学指導

中等部

1年

2年

3年

高等部

1年

2年

3年

個別の
アプローチ

ポートフォリオ 中1入学当初から高3卒業の日まで、試験・行事の記録、自分の感性、調べ学習、探究活動など個人の成長をファイリングし、6年間での成長を目に見える形で残していきます。

生徒面談

学習の記録

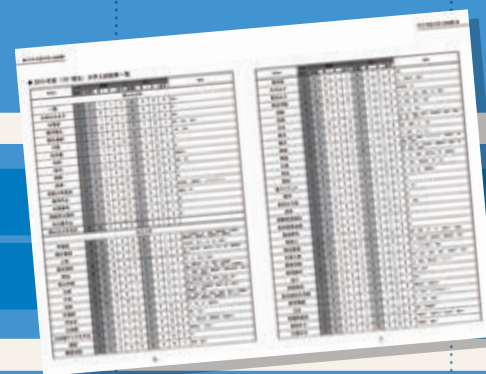
ベネッセ学力推移調査(年3回)／ベネッセ総合学力調査(年1回)



ベネッセスタディサポート(年1回)／河合塾全国統一模試(年1回)

ベネッセ総合学カテスト(年3回)

ベネッセ総合学力記述模試(2回)、ベネッセ大学入試共通テスト模試(1回)、駿台ベネッセ共通テスト模試(2回)記述模試(1回)、駿台共通テストプレ(1回)



6年を通した
具体的な学習計画で
学びを結びつける

シラバス 「シラバス」とは、夢を叶えるための6年間の具体的な学習計画です。計画的に学習を進める上で、授業内容や到達目標を確認しながら、頭の中で常に「これまで何を学んできたのか?」「今、なぜこれを学んでいるのか?」「これから何を学ぶのか?」というイメージを描きます。

進路の手引き 大学入試に関する基礎知識や受験のポイントだけでなく、卒業生の体験や参考データを掲載しています。

「高い志」を育む創立者研究

創立者森村市左衛門の人生哲学や功績を学び、その生き方から校訓である「正直・親切・勤勉」や建学の精神「独立自営」の真の意味について探究します。学んだことは一人ひとりがレポートや新聞にまとめて発表し、主体的な学びへと高めています。



職業研究

講演会や各自の調査、インタビュー、職場体験などを通じて興味のある職業について学び、レポートにまとめてプレゼンテーションを行います。進路についてのイメージをふくらませ、今後どのような学びが必要か考えるきっかけとなります。



文化比較研究
(ニュージーランド修学旅行)

授業や校外行事などを通じて日本文化への理解を深めます。また、ニュージーランド修学旅行を通して見聞を広め、海外と日本の文化を比較することで多様性を学びます。



自由課題研究

各自で興味のある分野を追究し、レポートを作成。自ら問いを立て、ひとつの事柄を突き詰める粘り強さを身につけます。レポート作成の過程で、言語技術で学んだことが大きく活かされます。

キャリア学習で
未来を
イメージ

進路の日 1日を通して大学の出前授業や説明会を実施し、大学で学びたいことや受験について具体的にイメージします。

オープンキャンパスレポート

夏休みには、各大学で開催されるオープンキャンパスに参加し、レポートを作成。公開講座などの受講を通じて自分の追究したい学問がより明確になります。

大学受験を語る会

大学に合格したばかりの高3生が、後輩たちに向けて実体験を語ります。



志望校合格のための
実力をつける



2コマ連続授業

高2になると、2コマ連続の110分授業が増えます。大学受験問題を解き、しっかりと解説を受けられます。

文理選択

高1の間に夢の実現に必要な教科を検証し、文理を選択。高2から文理コース別授業がスタートします。

徹底した大学受験対策

高3では、各教科で難関大学合格に向けた過去問題演習などを行い、大学入試に向けて実践的な力を身につけます。

駿台サテライト講座 →P.12

TOPICS

医系総合大学
「昭和大学」と連携

昭和大学と特別協定校として協定を締結しています。今後の高大連携の実現を図るために、さまざまな相互交流を実施しています。

連携のポイント

- ・大学教育の一端を理解させるプログラムの提供
- ・高校の正規授業、課外授業等に対する支援
- ・双方に有益な教育活動等の展開
- ・昭和大学への受験希望者に対する特別推薦枠※の適用
- ※推薦枠…医学部・薬学部など

海外大学進学協定校
推薦入試制度に加盟!

→P.15

未来へのステップⅡ希望する進路へ

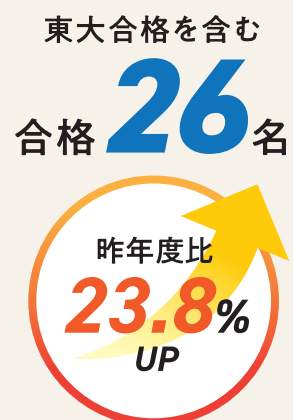


2022年度
大学入試結果

6年間の学びが「夢の入り口」へ導く

森村学園は、生徒の希望や適性を第一とし、その先の社会生活も見据えたきめ細やかな進路指導、進学指導を行っています。この春卒業した174名の生徒たちは、コロナ禍による困難の多い高校生活の中でも仲間と支え合いながら自らの「夢の入り口」に立ちました。共通テストをはじめとする冬の一般入試だけでなく、昨今増加傾向にある「秋入試」といわれる学校推薦型、総合型選抜などのさまざまな入試制度の変化にも対応しています。

国公立大学



難関私立大学



2022年度進学・合格者数

国公立大学	2022年度入試		2021年度入試	
	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数
東京大学	1	1		
東京工業大学	2	2	1	1
東京外国語大学		1	2	2
東京医科歯科大学	1	1		
東京藝術大学	1	1		
電気通信大学		1		
横浜国立大学	2	2	1	1
東北大学	1	1	3	3
北海道大学		1		
信州大学	1	2		
大分大学	1	1		
東京都立大学	2	2	2	2
横浜国立大学	4	5	2	2
その他	4	5	8	10
国公立大学 合計	20	26	19	21

難関私立大学	2022年度入試		2021年度入試	
	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数
早稲田大学	12	20	7	11
慶應義塾大学	5	10	8	9
上智大学	3	12	6	14
東京理科大学	4	17	4	19
国際基督教大学 (ICU)	1	1		
早慶上理ICU 合計	25	60	25	53

明治大学	12	40	6	24
青山学院大学	11	25	9	20
立教大学	3	9	7	24
中央大学	10	58	5	31
法政大学	4	28	7	19
学習院大学	2	4	4	7
GMARCH 合計	42	164	38	125

医学部医学科の進学・合格者数

		2022年度入試		2021年度入試	
		進学者数	合格者数	進学者数	合格者数
国公立医学部(医学科)	大分大学	1	1		
	昭和大学	1	1	1	1
	日本医科大学	1	1		
	東海大学		1		
	北里大学		1	1	2
	東邦大学			1	1
	杏林大学	1	1		1
	帝京大学			1	1
	近畿大学				1
	埼玉医科大学	1	2		1
	獨協医科大学	1	1		2
	東北医科薬科大学		1		1
私立医学部(医学科)	産業医科大学			1	1
	金沢医科大学	1	1		
医学部医学科 合計		7	11	5	12

芸術系・海外大学など多様な進学先についても
ホームページでご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



卒業生
合格体験記

新たなステップへ

森村で見つけた夢への第一歩を踏み出した2021年度の卒業生たちに、志望校合格までの道のりを振り返ってもらいました。



岡澤 知咲さん

一般選抜(前期日程)

進学先

東京大学 理科一類

森村での先生や友人との出会いは私を大きく成長させてくれました。先生方は日々の演習に根気強く付き合ってください。一方で、成績が振るわず志望校を諦めそうになった私の背中を強く押してください。また進路について真剣に相談できる多くの友人にも恵まれたことで、苦しい受験も乗り越えることができました。



小寺 玲二郎さん

一般選抜

進学先

東京工業大学 生命理工学院

進学先を決めたものの成績が伸びず不安な日々を送っていた私にとって、学校の存在は非常に大きいものでした。仲間と互いに刺激し合い、助け合えたことは受験期の大きな支えとなりました。さらに先生方も質問すればすぐに解説をし、理解できるまで教えてくださいました。塾に通わずとも第一志望校に合格できたのはこうしたサポートのおかげです。



熊坂 凜さん

一般選抜

進学先

早稲田大学 法学部

先生方の手厚いサポートと、受験に真剣に取り組む、励ましかう仲間たちがいることが、森村学園の大きな強みだと思います。現在通う早稲田大学法学部も、担任の先生が親身に面談して下さったことで受験を決意した進路です。苦しい受験ですら最高の思い出になるこの学校で学ぶことができて本当によかったです。



井上 菜々子さん

総合型選抜(AO入試)

進学先

慶應義塾大学 環境情報学部

私は森村学園の生徒だったからこそ、受験を乗り越えることができたのだと思います。先生方が自分のことをよく理解してくださっていたので、学校生活と共に習い事にも力を入れることができ、その経験が自信をもって受験に臨むことにつながりました。また、中高6年間を共に過ごした仲間がいたからこそ乗り越えられたことも多く、感謝しています。



学園ホームページにて、卒業生インタビュー公開中

希望の路で活躍する 森村生

希望の路に羽ばたいていった卒業生たちに、森村らしさを感じるエピソードや、社会に出てから活きている森村での学びなどについてインタビューしました。

ホームページは
こちらからご覧ください



物事を追求する姿勢は、森村で身につけました。
川上 玲さん (東京大学 理科I類卒)

東京工業大学 特任准教授
デンソーアイティラボラトリ シニアリサーチャー



個性豊かな仲間との学校生活が、多様な人と関わる仕事に活きています。
鈴木 洋祐さん (早稲田大学 創造理工学部卒)

株式会社博報堂 アカウントプロデュース職

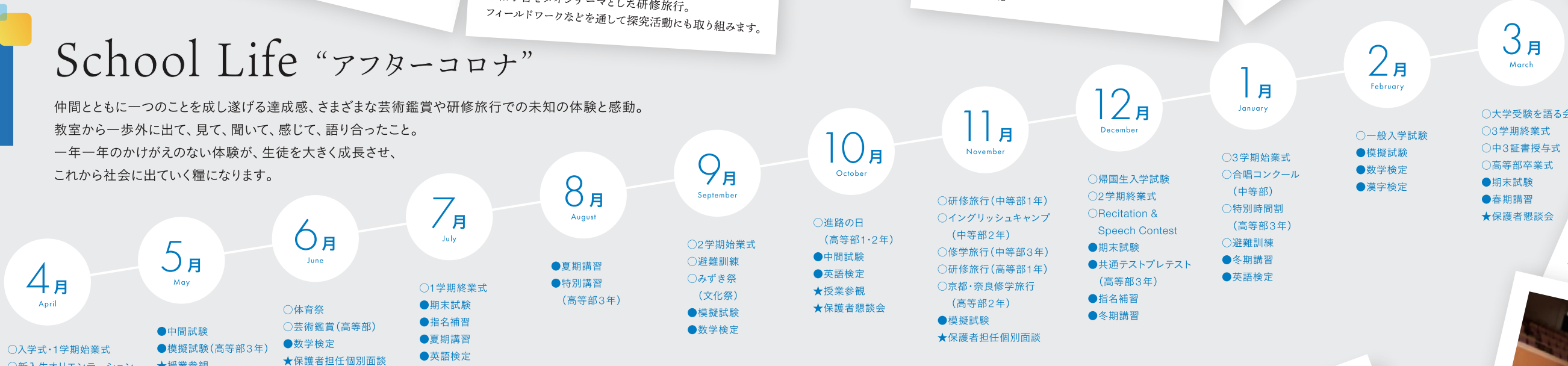


School Life “アフターコロナ”

仲間とともに一つのことを成し遂げる達成感、さまざまな芸術鑑賞や研修旅行での未知の体験と感動。
教室から一歩外に出て、見て、聞いて、感じて、語り合ったこと。
一年一年のかけがえない体験が、生徒を大きく成長させ、
これから社会に出ていく糧になります。



学校行事



森村学園の1日 勉強も 部活動も全力で

自然豊かな落ち着いた学び舎で、今日も一日が始まります。
クラスメイトと刺激し合いながら学び、放課後は部活動へ。



京都・奈良修学旅行 (高等部2年)
日本人としての誇りを感じ、
日本文化への理解を深めます。



合唱コンクール (中等部)
心を一つに、1年間を通じて
築いた団結力を発揮します。



野球部

【活動日】
 中等部 月・火・土
 高等部 火・木・(金)・土
 【活動場所】グラウンド
 ※中等部 軟式・高等部 硬式



サッカー部

【活動日】月または火・金・土
 【活動場所】グラウンド



バレーボール部

【活動日】
 中等部女子・男子 月・火・金・土のうち3日
 高等部女子・男子 月または火・木・土
 【活動場所】高等部体育館
 中等部体育館(火)



硬式テニス部

【活動日】
 中等部男子 火・金・土
 高等部男子 月・木・金
 中等部女子 月・火・土
 高等部女子 火・木・金
 【活動場所】テニスコート



バスケットボール部

【活動日】
 中等部男子 月・火・(金)・土
 高等部男子 月・木・(金)・土
 中等部女子 月・(火)・金・土
 高等部女子 月・木・(金)・土
 【活動場所】中等部体育館



陸上競技部

【活動日】
 中等部 火・金・土
 高等部 月・木・金
 【活動場所】グラウンド



バドミントン部

【活動日】
 中等部 月・金・土
 高等部 火・木・土
 【活動場所】初等部体育館



ゴルフ部

【活動日】
 中等部 月・火
 高等部 火・金
 【活動場所】校外ゴルフ練習場
 学内スペース



部活動

学年をこえて 好きなことに熱中!

森村学園の部活動には多彩なジャンルがあり、ほとんどの生徒が参加しています。中高一貫の6年間の中で、先輩・後輩の深い絆や関わりが生まれ、人間関係を構築する力が養われます。ともに夢中になれる仲間や、かけがえのない日々、そして心から打ち込める何かに、きっと出会えることでしょう。



剣道部

【活動日】火・金・土
 【活動場所】幼稚園ホール



空手道部

【活動日】
 中等部 月・土(火)
 高等部 月・木・土(火)
 【活動場所】幼稚園ホール



新体操部

【活動日】
 中等部女子 月・(火)・金・土
 高等部女子 火・木・(金)・土
 【活動場所】高等部体育館



管弦楽部

【活動日】月・火・金・土のうち3日
 【活動場所】第2音楽室他



合唱部

【活動日】火・金
 【活動場所】第1音楽室



ESS部

【活動日】月・金
 【活動場所】101教室



演劇部

【活動日】火・金
 【活動場所】ホール



美術部

【活動日】月・火・金
 【活動場所】第1・第2美術室



科学部

【活動日】火・金
 【活動場所】第1理科室



囲碁将棋部

【活動日】火・金
 【活動場所】201教室



料理部(高等部のみ)

【活動日】火・金のいずれか
 【活動場所】第2調理室



華道部

【活動日】火
 【活動場所】書道室



茶道部

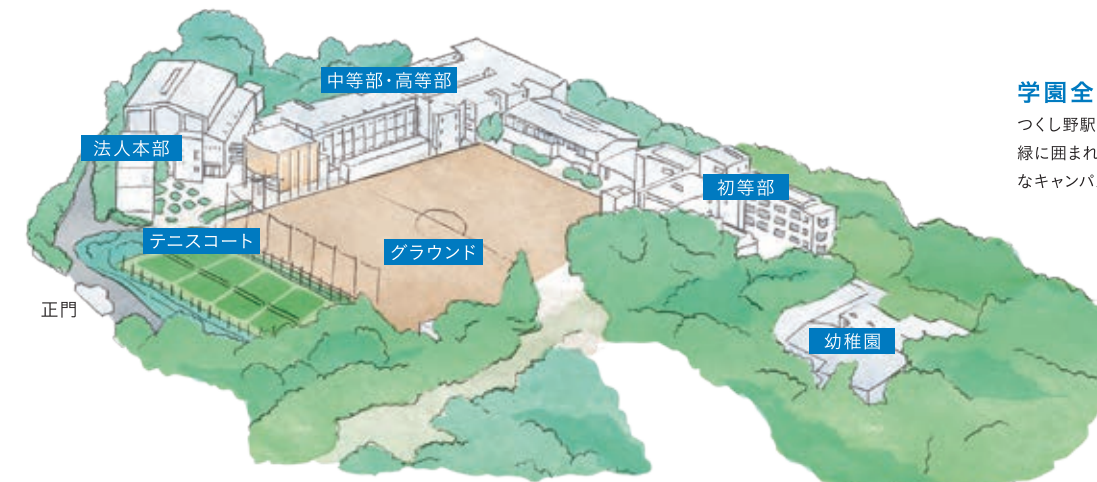
【活動日】
 中等部 月・高等部 木
 【活動場所】茶室



施設紹介

人を育む環境と 成長を支える学校施設

学園の敷地には豊かな緑が広がっています。
その包み込むような優しさが、生徒たちの成長を促してくれます。
さまざまな樹木が自生する自然林が教えてくれる四季のうつろい、美しさ。
清々しく澄み渡る空気。こうした環境が、感性を育てていきます。



学園全景

つくし野駅からほど近い正門をくぐると、
緑に囲まれた東京ドーム1.8個分の広大な
キャンパスが広がります。



エントランス

高等部の生徒・教職員、お客様用の出入り口です。登下校時の混雑を緩和するため、中等部の生徒の玄関は別に設けられています。



ギャラリー

校舎の中央部に位置し、地下1階から地上3階まで吹き抜けになっています。各階の廊下の両サイドには、特別教室が配置されています。



生物室

生徒の知的好奇心をくすぐる資料や実験機器が豊富に取り揃えられ、さまざまな実習に対応できます。



カフェテリア

昼は食堂、放課後は生徒たちの憩いの場となります。椅子の色によって中高生がすみわけをしています。



テニスコート

キャンパス内に砂入り人工芝のテニスコートが4面あります。周囲は桜やハナミズキなどのさまざまな季節の草木に囲まれています。



自習室

朝の7時30分から多くの生徒が利用しています。各大学の資料や過去の問題集、サテライト講座なども完備しています。



ホール

1学年の生徒がゆとりをもって集まることのできる、約300席のホール。学年集会や講演会、音楽会、保護者懇談会、学校説明会等で利用します。



第2音楽室

6つある練習室のすべてにピアノが設置されており、合唱のパート別練習にも適しています。



図書館

約5万5千冊の蔵書を誇り、バリエーションの豊富さも自慢です。2021年度より電子図書館もスタートしました。



教室

大きな窓からやさしい光がふりそそぐ、明るく開放的な教室。プロジェクターや音響設備、Wi-Fiも完備しています。



フューチャールーム

ホワイトボードやプロジェクター、可動式の机と椅子を備えており、ディスカッションに適した環境を用意しています。



茶室

茶道部員が使うお茶室。部屋の造りや道具も本格的で、和の心が学べる空間です。